

施策評価シート

【施策の概要】

施策評価シート		登録者(課長)名【1】		広報広聴担当課長 佐藤 謙		
		主管課(関係課)【2】		秘書広報課(総務法規課、企画政策課)		
【施策の概要】						
施策名【3】			分野【4】		まちづくりの方向性【5】	
協2-1 開かれた市政の推進			持続発展するまちであるために		協働で拓くまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】			施策実現へむけたキーワード【7】		施策の目標【8】
	市政情報に対するニーズの高まりに対応するために、今後も多様な情報媒体を活用して市政情報の発信に取り組んでいくことが必要です。 特に広報紙については、全世帯に行き届く媒体として、政策・施策が決まったあとに伝えるのではなく、政策・施策の形成過程の公開、さらに政策・施策への市民参加を呼びかけるなどの政策広報への転換が必要です。 また、情報公開については、市民の市政情報に対するニーズに的確に応えるため、公文書の保存及び管理のしくみを整備し、行政資料の提供を充実させていく必要があります。			・「広報西東京」の充実 ・情報公開のための体制の整備		市民が情報を得やすいしくみを整えるとともに、情報管理に関する職員の知識・運用の向上を図り、市民と市との双方向の情報交流や市政への市民参加を推進するための積極的な情報公開をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】					
	◇平成23年4月に公文書等の管理に関する法律が施行されました。これは国の省庁でばらばらであった公文書等の保存、廃棄等について共通のルールを設定するものです。地方公共団体についても同法の趣旨に沿って適性に管理することが求められています。 ◇インターネットに関連する環境の変化として、スマートフォン等の普及が進んでいるほか、民間のソーシャルメディアの利用が広がるなど、個人による情報収集や情報発信などがますます活発に行われるようになっていきます。					
事業群	事業群名【10】			事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	広報広聴の充実に努めます		広報西東京、ホームページの運営など情報提供の充実、情報交流のしくみづくり		
	2	積極的な情報公開を進めます		積極的な情報公開の推進		

【施策の成果】

				年度	19	20	21	22	23	24
成果指標【12】	指標 1	名称	市ホームページへのアクセス数（トップページ）	目標値	1,000千回			単位	千回	
		算出式・説明	ホームページ環境を改善することで利用者が拡大し、市政の情報を市民がより多く把握できることにつながります。	実績値	711	679	768	1113	743	
				達成率	71%	68%	77%	111%	74%	0%
	指標 2	名称	市ホームページのページ閲覧件数	目標値	18,000千件			単位	千件	
		算出式・説明	より多くのページを閲覧してもらうことで、多くの情報を市民が得る可能性が高まります。 ※検索機能の充実に伴い、必要な情報へのアクセスがトップページを介さずに簡単に到達できるようになったため、各ページへの閲覧件数の総数を指標に加えました。	実績値	8766	9897	17070	21430	17056	
				達成率	49%	55%	95%	119%	95%	0%
	指標 3	名称	市ホームページのサイト訪問者件数	目標値	1,800千件			単位	千件	
		算出式・説明	訪問者数の増加は、多くの市民が閲覧している可能性を高めることにつながります。 ※指標 2 と同様な事由により、サイトの訪問者件数も指標に加え、利用状況を多面的に捉えることとしました。	実績値	1175	1335	1698	2231	2051	
				達成率	65%	74%	94%	124%	114%	0%
	指標 4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
				達成率						
	達成率の平均値				62%	66%	89%	118%	94%	0%

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	41.1%	満足度(%)	40.4%	満足度(%)	41%
満足度(平均ポイント)	0.19	満足度(平均ポイント)	0.15	満足度(平均ポイント)	0.21
重要度(%)	76.7%	重要度(%)	76%	重要度(%)	74.4%
重要度(平均ポイント)	1.18	重要度(平均ポイント)	1.16	重要度(平均ポイント)	1.16

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	☐ まだ未達成 ☒ ほぼ達成 ☐ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	☐ 平均を下回る ☐ ほぼ平均 ☒ 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇市政における情報発信については、市報やホームページのほか、エフエム放送やケーブルテレビによる文字放送など、各種メディアを活用し多角的に実施しています。今後は、これらの情報媒体の役割分担や連携（クロスメディア）といった視点も踏まえ、より多くの市民に向けた戦略的な情報発信を行っていくことが求められています。また、ホームページや電子会議室等の利用状況を踏まえたうえで、これまでの情報発信や市民参加、情報交流ツールの手法に加えて、民間ソーシャルメディアに関しても、その活用方法について検討を進めていく必要があります。 ◇情報公開については、国の法整備に先立ち、西東京市誕生以前の旧市において情報公開条例が制定され、情報公開コーナーを設けています。また、平成16年9月からは、インターネットにおける公文書の検索や開示請求を可能とし、手続きの面においても充実を図ってきました。公文書等の管理については、西東京市文書管理規程によって市長部局の統一的な対応を図っているほか、教育委員会等の執行機関においても市長部局の文書管理規程に準じた規定を制定し、市として統一した文書管理を行っています。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	☐ 弱くなっている ☒ 以前と同程度 ☐ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	☐ 平均を下回る ☐ ほぼ平均 ☒ 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇広報広聴の充実については、西東京市が確保している多様な情報媒体やその他のICTについて、さらに効果的な活用ができるよう検討を進め、より広く情報が伝わり、市民参加の機会が充実するシステムの構築を目指していきます。 ◇情報公開については、今後も情報公開コーナーやインターネットにおける各種市政情報や公文書の公開を推進していきます。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	☐ 重点化 ☐ 現状維持 ☒ 効率化		
	施策実施方針【22】	VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	☐ 重点化 ☐ 現状維持 ☒ 効率化
	判断理由等【24】	開かれた市政の推進については、国の法制度の整備に先立って情報公開を進めてきたほか、市政情報の発信としては市報やホームページ、エフエム放送やケーブルテレビなど、多様な媒体を活用して、より多くの市民への情報提供に努めてきました。 これらの取組みの結果、市民意識調査結果における満足度は、全施策中3番目に高水準となっており、これまでの取組みの成果が伺える一方、重要度も相対的に高水準であり、情報通信技術の発達に伴う、スマートフォンの急速な普及や民間ソーシャルメディアの利用拡大といった環境の変化への対応が求められているとも考えられます。 これまでもコストを効率化させながら事業を実施し、高い満足度を維持してきたところでもあるため、今後においても、施策内容は現状計画ベースを維持しながらコストの効率化に努めることとします。
	施策実施方針【22】	VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	ホームページの充実	秘書広報課	市民ニーズに合った情報掲載を継続すること、また、市ホームページの利用しやすさを向上させることで、市民が情報を得やすいしくみを整えています。
	ICTを活用した市民参加手法の充実	秘書広報課	市ホームページに電子会議室のコーナーを設け、テーマごとの「会議」を開設するなどICTを活用した市民参加手法の充実を図ってきました。今後は電子会議室の利用状況を踏まえて、ICTを活用した新たな市民参加の手法の検討も行っていきます。
2	情報公開の推進	総務法規課	積極的な情報公開を進めるため、公文書の保存及び管理のしくみを整備することでより一層の公文書の開示及び行政資料の提供に努めます。また、文書管理システムを活用して、情報公開の電子化により、インターネットによる市民への公文書の開示を行い、市政の透明化を図っています。
	出前講座の実施	企画政策課	市では、積極的な情報提供の手法として出前講座を実施しています。講座メニューの中から希望する内容のものについて、市職員が出向いて講義します。市の業務や制度など、市政についての理解を深めていただくとともに、団体・グループの学習の場として利用いただいています。現在43講座について実施しています。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
25,745	9,415	16,330	改善・見直し (平成19年度)	中	市ホームページの充実により、市政 の情報をより多くの市民が把握できる ようになります。	B
0	0	0	抜本的見直し (平成20年度)	上	ICTを活用した市民参加手法を充実 させて、開かれた市政を推進を図りま す。	C
11,083	0	11,083	改善・見直し (平成18年度)	中	市民の市政情報に対するニーズに的 確に応えるとともに、市政の透明化を 図ることができます。	B
245	0	245	改善・見直し (平成20年度)	中	出前講座を引続き実施して、積極的 な情報公開を進めます。	C
37,073	9,415	27,658				